



## 東京活性化宣言!

東京都議会議員(小金井市選挙区)

# 西岡真一郎

2008(平成20)年7月

No.13

# 都議会レポート

発行 都議会民主党政策調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

## 「銀行・豊洲議会」平成20年第2回定例会・都政報告特集号!

### 西岡真一郎、会派政調副会長、都議会財政委員会副委員長として邁進!



6月25日(水)、平成20年第2回定例会が閉会。今定例会は、新銀行東京の後処理、築地市場移転、後期高齢者医療制度、中国四川大地震を受けての震災対策など、都民生活に密着した重要課題が目白押しでしたが、石原知事は、議会冒頭に行った所信表明で、これらの課題への対応には一切ふれませんでした。総合評価1位でオリンピック立候補都市に選定されたことは重要なこと

ですが、その他の都政の重要課題に触れないのには問題があります。またオリンピック招致に協力している民主党の活動を理解しない知事発言が行われたことは遺憾であり、都民の機運をさらに盛り上げていくためには知事の姿勢が変化しなければならないことを痛感します。また、都議会民主党は、新銀行及び築地市場問題では、参考人招致を求める動議を委員会に提出しましたが、いずれも自民・公明に否決されました。西岡真一郎は、都議会民主党政調副会長として、新銀行や豊洲問題の調査や会派代表質問づくり、様々な意見調整役として全力投球。また都議会財政委員会副委員長として、意見書の取りまとめや委員会運営に従事し、都政改革に邁進中。

### 新銀行東京の累積損出1016億円、責任問わず減資で帳消し!

自民・公明の賛成で、追加出資の400億円が投入された新銀行は6月30日の株主総会で累積赤字1016億円を帳消しにする減資を提案する予定です。石原知事は「どこの企業でもやっている」と容認していますが、減資で失われるのは都民の税金です。民主党は、知事があくまでも旧経営陣の責任だと強弁するのであれば、訴訟を起こすべきであり、責任

追及なくして、減資はあり得ないと主張。また、新銀行が訴えないのであれば、都が株主代表訴訟を起こすべきだと質問しました。これに対して、石原知事は「減資と旧経営陣の責任追及とは切り離すべき」と答え、訴訟についても「新銀行による調査結果とその後の対応を踏まえ判断」と先送り。責任追及もないまま、都民の税金だけが失われていきます。

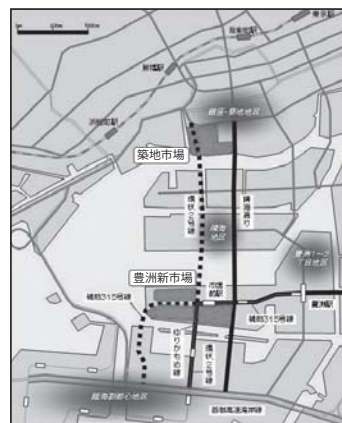
### 築地市場の移転問題、まず移転ありきはダメ!

豊洲新市場予定地から高濃度のベンゼンなどが検出された問題で、民主党は、現在地再整備での種地の有無や他の移転候補地など、あらゆる事態を想定して、多様な検討をすべきだと主張しました。石原知事は「4万3千倍のベンゼンが一か所からは検出された



▲食の安全安心への視点が最も重要!

が、高濃度の汚染の範囲は極めて限られている」と強調した上で、「各分野からの提言を幅広く受け止める」と答弁しました。市場移転問題では、与党の一部からすらも、計画の再検討を求める声があがっています。

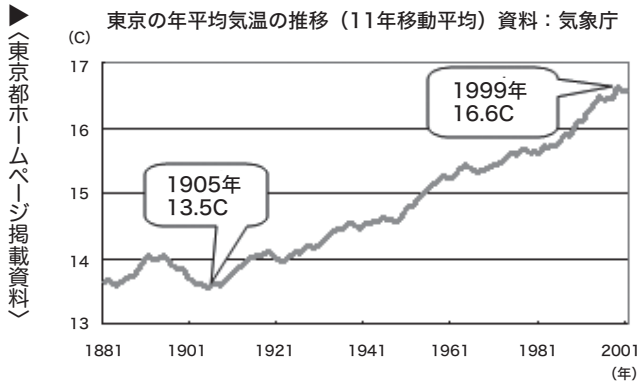


◀東京都ホームページ掲載資料▶

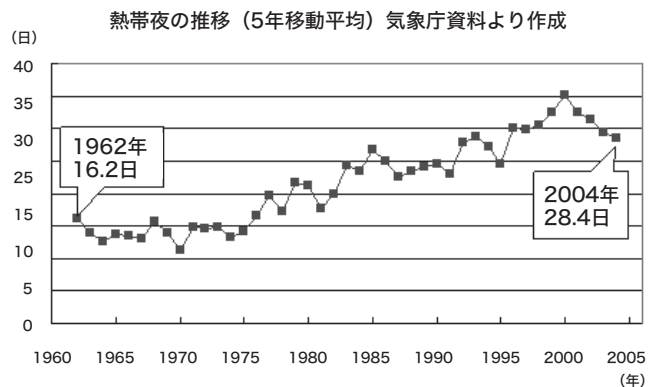
## 環境確保条例で付帯決議、より着実なCO2削減を！

温暖化対策に向けた気運が高まるなか、石原知事は「2020年までに2000年比で25%削減」という目標を掲げ、大規模排出事業者に対する削減義務化や排出量取引制度などを盛り込んだ条例案を提案しました。民主党は、これまでの主張が盛り込まれた改正案を高く評価する一方、自動車の温暖化対策の条

例化が見送られたことや削減義務率の具体的な内容など、条例の肝心な部分が今後に委ねられていることなどから、付帯決議を提案し、より着実な温暖化対策の実行を求めました。今後とも、ヒートアイランド対策も含め、これらの課題の前進のため、精一杯に取り組んで参ります。



◎東京では100年間の間に約3°C気温が上昇。



◎熱帯夜の日数は過去40年間で約2倍。

## 分権実現は、政治のリーダーシップ！

地方分権改革推進委が「一次勧告」を発表しました。その内容は、事業の権限移譲など市町村の自治権の拡充を図るものなどです。都も分権を進めていますが、移譲は目標の7割にとどまり、未だ計画は完了していません。そこで民主党は、都民の視点を重視し、東京の実態を踏まえた役割分担の適正化と権限移譲の推進を求めました。

また、分権は政治主導に大きく左右されるため、

知事に分権改革の実現に向けた働きかけが重要であると訴えました。

西岡真一郎が従来から反対し、財政委員会を通じて分権への逆行であると問題点を指摘してきた法人事業税の国税化に関しては、福田首相と石原都知事による曖昧かつ担保のない「抜本的税制改革までの間」という約束に反して、恒久的流れになっていくのではないかと強く危惧しています。

## 相次ぐ大規模自然災害、東京も万全の備えを！

中国四川省の大地震、ミャンマー（ビルマ）のサイクロン、岩手・宮城大地震など、国内外で大規模な自然災害が相次いで発生しています。都は被災地に対し、物的援助や人的支援を行っていますが、民主党はこの経験を、都が被災した場合の対策にも活かしていくべきと主張。知事も「災害対応能力を一層強化していきたい」と答弁しました。四川大地震を受け、公立小中学校の耐震化が加速されようとして

いますが、私立学校の耐震化も同様に加速する必要があります。会派政調副会長である西岡真一郎が代表質問に盛り込み、民主党が求めたのに対し、都は前向きに検討することを約束しました。また民主党は、地震に限定した対策だけでなく、台風による高潮や都市型水害が重なって発生する複合災害も想定すべきと指摘。都も対策の必要性を認めています。



## 「居酒屋タクシー」問題、都が実態調査を確約！

国の省庁職員が深夜帰宅の際に、タクシーの運転手から金品や酒などの提供を受けていた「居酒屋タクシー」問題。都の職員も国の省庁職員と同様、深夜にタクシーで帰宅することが多いため、民主党が都職員でも同様の問題はないのか追及した結果、都

は実態調査を行うことを約束しました。書類調査や聞き取り調査が行われ、調査開始から一カ月後を目途に、結果が公表されることとなります。

今後も税金の不適正支出がないかどうか、監視していきます。

## 後期高齢者医療制度廃止を東京都からも発信せよ！

4月から後期高齢者医療制度がスタート。政府与党は、また見直し案をまとめましたが、見直しだけでは対応できない構造的欠陥があるのがこの制度。民主党は、東京都内の本制度加入者の半数以上が低所得者であること、今年度は保険料高騰を防ぐため110億円の補助金を投入していることを指摘しました。高齢者医療費は、17年後に現在の2倍弱になります。この制度を放置すれば、年々保険料が増え続け、高齢者に過度な負担を強いることは目に見えています。一刻も早い制度廃止、高齢者を支えるに足る医療保険制度実現を国に求めるべきと主張しました。石原知事は、国民皆保険を堅持するために作られたものと認識している、などとした上で、制度の廃止を国に求める考えはないと明言しました。

### <後期高齢者医療制度の問題点は！？>

#### 1) 年金天引き

4月1日から75歳以上の高齢者を対象に後期高齢者医療制度がはじまった。この制度は、保険料を年金から天引きする一方、高齢者が十分な医療を受けにくくする「高齢者いじめ法」だ。国会では2月28日に民主党は他の野党とともに後期高齢者医療制度等廃止法案を提出。

#### 2) 高齢者を年齢で差別

75歳以上の高齢者を「後期高齢者」と勝手に名づけ分類。年齢で区切った医療制度は世界初。75歳以上の高齢者が一般国民と異なった制度の対象となるのは年齢差別である。

#### 3) 年金は消えたまま、でも保険料がしっかり天引き

75歳以上で年間18万円以上の年金受給者の方が、4月15日より年金支給額から保険料を平均月6000円天引き(=特別徴収)された。消えた年金の解決は

一向に進まない公約違反状況で、年金からの保険料天引きだけが強行されるのは、事実上の年金の引き下げ。

#### 4) 強行採決による法案成立

昨年後半になって政府・与党は、75歳以上の被扶養者(200万人)に対する保険料徴収を半年間凍結。さらに、70歳から74歳の高齢者の自己負担増は、1年間の凍結を決定。しかし、後期高齢者医療制度創設や70歳～74歳の自己負担増は2006年5月に与党が強行採決して成立させた制度。

#### 5) 包括払い制度で受けられる医療を制限

75歳以上の高齢者には「包括払い」(慢性疾患を抱える患者の診療計画を定期的で作成する場合の報酬「後期高齢者診察料」=月6千円)が新設される。いくら検査や処置をしても医療機関への支払いは定額になることから、手抜き診療が行われるのではないかとの指摘。



高齢者の方が安心して医療を受けられる制度の実現を！

#### 6) 終末期医療の決定も診療報酬に

患者の終末期医療の医療方針について患者や家族と話し合って文書化すれば「終末期相談支援料」として診療報酬2000円が認められる。高齢者の尊厳が無視されるのでは。

#### 7) 低所得者は1年滞納で保険証を取り上げ

年間18万円下の年金受給者は、保険料が年金から天引きされない代わりに、1年以上滞納すれば、医療費が全額自己負担になる「資格証明書」が発行される。

## 新型インフルエンザ対策、一歩前進へ！

鳥インフルエンザウイルスが変異して発生する新型インフルエンザの対策。都は大流行時の患者数を380万人と予測していますが、治療に必要な抗ウイルス薬を100万人分しか備蓄していません。民主党は大流行した時、医療機関に時期を逸することなく行き渡らせるには不十分な数であり、医療関係者か

らも診療を続けられるようにバックアップが必要との声があることを指摘しました。都は、医療機関との連携強化、抗インフルエンザ薬備蓄の大幅な増強を検討すると答弁。対策の前進を約束しました。



▲ 新型インフルエンザへの万全の備えを！

## 障害者自立支援法見直しで所得保障実現へ進め！

民主党は、定率負担の凍結法案の成立を目指してきましたが、未だめどが立っていません。都議会民主党内にプロジェクトチームを設置。国会への申し入れなどを行ってきました。増えない収入から新たな負担をしてきた障害者、低い報酬で持ちこたえて

きた事業者、両者ともに疲弊しています。人材流出が問題となっている介護保険よりも時間当たり千円低い報酬などの実態を強く訴え、都の見解を質しました。都も、所得保障、事業者報酬も大都市の実情を適切に反映した設定が必要との認識を示しました。

## 西岡真一郎の活動報告(2008年4・5・6月)

### ■「毎日修行」の精神で小金井市内・東京都内で大奮闘中!

各種学校入学式、小金井薪能理事会、民主党大学東京講座・分科会、各種団体主催お花見の会、子ども達を薬害から守る実行委員会、小金井市文化連盟主催行事、小金井市立南小学校入学式、都議会のあり方検討委員会、小金井市倫理法人会モーニングセミナー、小金井市トライアスロン連合総会・会議、新銀行東京対策プロジェクトチーム会議、青年会議所主催「裏高尾山への植林活動」、地方議員報告会、小金井市内奉仕団体主催各種行事、各種老人クラブ総会、三多摩メーデー、東京国際スリーデーマーチ、ちびっ子フェスタ、民主党地方自治体議員研修会・青年議員交流会、金蔵院・曼荼羅ライブ、むさしの野草会「山野草展」、小金井明社の会総会、小金井ライオンズクラブ「障がい者交流会」・「例会」、都庁・都議会・国会見学会、小金井公園多目的運動広場(少年サッカー)オープニングキックオフイベント、第46回東京河川改修促進連盟大会、薬物乱用問題に関する警視庁へのヒアリング、小金井市薬物乱用防止推進協議会での講演、小金井青年会議所「市長例会」、東京都行政書士会総会、豊洲土壌汚染対策プロジェクトチーム会議、民主党都連・18区支部・小金井支部幹事会、西岡真一郎の都政報告会、ユニセフチャリティーバザー、都議会民主党総務部会、都議会民主党役員会・総会、小金井三宅島友好協会30周年記念総会・交流会、小金井市政50周年記念キャンドルイベント実行委員会、狛江市長選挙応援活動、日本青年会議所東京ブロック協議会会員大会、オリンピック招致議連、芸術文化振興銀連盟役員会、専門学校での講義、通信制サポート校・東京ネットワーク総会、東京学芸大学・東京農工大学留学生との交流会、NPO法人小金井市文化協会総会、映画「シッコ」上映会及び菅直人国政報告会、民主党都連青年委員会活動、他



▲4月19日(土)青年会議所メンバーとして裏高尾山への植林活動に参加!



▲4月26日(土)三多摩メーデー会場付近にて都政改革を訴える!



▲5月19日(月)菅直人代表代行を講師に若者連との国会見学会・勉強会を主催!

## 都民相談、都議会見学、インターンシップ活動等、お気軽にご連絡下さい!

西岡真一郎の役職・担当  
(2008年4月現在)

**常任・特別委員会・審議会** 財政委員会副委員長、オリンピック招致特別委員会委員、東京都薬事審議会委員

**会派** 政策調査会副会長、議会改革プロジェクトチーム座長、島嶼振興等調査会委員他

**議員連盟等** 東京都議会花粉症対策推進議連幹事、東京都議会芸術文化振興議連幹事、東京都議会オリンピック招致推進議連委員、北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を図る東京都議会議員連盟委員、防災都市づくり推進計画・促進東京都議会議員連盟委員、東京都男女共同参画社会推進議連委員、FC東京をサポートする東京都議会議員の会委員、東京都議会日韓議連委員、東京都議会東京多摩国体推進議員連盟委員

**その他** 北多摩南部地域保健医療協議会特別委員

西岡真一郎プロフィール

●1969年武蔵野市生まれ・39歳/小金井市立南小・第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業/自民党本部事務局・新党さきがけ本部事務局・最年少の小金井市議会議員2期8年(無所属)、議会運営委員会委員長等を歴任。青年会議所や薬物乱用防止等の多数の地域活動に従事。2005年7月の東京都議会議員選挙にて初当選(民主党公認)。

●特技:阿波踊り、趣味:映画鑑賞、スポーツ:トライアスロン

●地域活動:小金井青年会議所監事、小金井市トライアスロン連合会長、子ども達を薬害から守る実行委員会事務局、小金井薪能理事等を務める。

西岡真一郎ホームページ  
ブログ毎日更新中!  
都議会西岡 で検索下さい!



●東京都庁連絡先  
〒163-8001  
新宿区西新宿2-8-1 議事堂5F 都議会民主党  
電話 03-5320-7230/FAX 03-5388-1784

●小金井事務所連絡先  
〒184-0004 小金井市本町1-6-2 アリスビル1F  
電話 042-386-5771/FAX 042-386-5773  
mail: DZG01370@nifty.com

ご意見欄 都政や小金井市の事等、ぜひお気軽にご意見をお寄せ下さい。送信先▶FAX:042-386-5773、又はmail:DZG01370@nifty.com

お名前	ご住所	お電話
-----	-----	-----